

# 西中の風

伊丹市立西中学校長  
豊田 實

## ～『減り張り』のある生活の大切さ～

まず、皆さんに示している「減り張り」という言葉を見てください。これは、(めりはり)と読みます。皆さんのなかには先生方からいただいた通知表に、めりはりのある生活をしましょう。と記してもらった人もいますね。(減)と(張)という漢字で構成されています。ゆるむことと張ることという意味です。張るは気持ちを張ると覚えてください。

では、夏休みを振り返ってみましょう。皆さんにとって長い休みはよかったです。先生方にとっても夏休み期間はよかったです。実際に様々な皆さんの活動を見せていただきました。先生方も夏休みだからこそできる生徒の活動に関わることを大切だと捉えています。夏休みは、休めるといううれしい気持ちで過ごせることと、大切なことがじっくりと取り組めるのです。「減り張り」ということにふさわしく気持ちをリラックスさせたり、引き締めたりすることが生きる場面です。



このことは、通常の学校生活があるからこそ、学習を中心として努力する普段の行動、生活があるからこそ、休みが値打ちをもってくるのです。もしも、なまける生活ばかりを続けていますと待ち遠しいはずの休みの値打ちは小さなものです。努力したり、休んだり、また、努力して、そして、休むという生活ができる人が健康ですね。

さて、生徒の皆さんのが夏休みの活動について一部紹介になりますが、ここでお話ししましょう。

- ・美術部が 2 日がかりで描いた掲示板絵画は来校された方の目にとまり好評です(校門入ってすぐ右手の掲示板)。
- ・納涼ふれあい祭りで早朝からテントの組み立て、ボランティアとしての本部、出店のお手伝い。

吹奏楽部は演奏と歌、ダンスパフォーマンス

- ・演劇部は兵庫県立尼崎青少年創造劇場・ピッコロシアターにて「神無月大作戦」を上演しました。50 分にも及ぶ熱演で、演出、脚本、照明、音響などドラマづくりを自分たちで造り上げたことはすばらしい。
- ・吹奏楽部は長寿祝いの会、いたみホールにてお祝いの演奏をし、多くのお年寄りに喜んでいただけました。幕が上がり部員がステージ上に姿を見せるとりりしい部員の姿にホール全体に感嘆の声があがりました。
- ・生徒会のリーダーは、伊丹市生徒会サミットに出場し、当日 FM いたみからインタビューを受けました。放送された内容については、近日、校内放送を用いて紹介します。
- ・神戸市にある兵庫県庁まで出かけて子ども県議会に参加した生徒もいました。
- ・猛暑が続く休み期間、まる 1 日の部活練習や遠いところまで出かける練習試合もありました。
- ・勿論学習相談にも励んでいました。部活毎で取り組んだ学習会もありましたね。

今、紹介したように時間をゆったりと使って生き生きとした行動をたくさん見せていただきました。

さあ、2学期が始まりました。西中生の底力を發揮してください。見ている人を感動させる体育大会、各競技新人大会も行われます。続いて実施する文化祭でも期待しています。完成度の高い演技や作品を望んでいますが、何よりも皆さん一人一人の一所懸命さにお父さん、お母さんたちご家族、そして先生方は感激するのです。君たちならきっと、すばらしい行事になる、確信しています。

(二学期始業式のお話)

